

コンドロイチン硫酸ABCエンドリラーゼ

Cat. No. EXWM-5096

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 この酵素は、コンドロイチン硫酸型およびデルマタン硫酸型のさまざまなグリコサミノグリカンを分解します。コンドロイチン硫酸、コンドロイチン硫酸プロテオグリカンおよびデルマタン硫酸が最良の基質ですが、酵素はヒアルロン酸にもかなり低い速度で作用することができます。ケラタン硫酸、ヘパラン硫酸およびヘパリンは基質ではありません。一般的に、コンドロイチン硫酸 (CS) およびデルマタン硫酸 (DS) 鎖は、リンケージ領域、チェーンキャップおよびリピート領域で構成されています。CSのリピート領域は、グルクロン酸 (GlcA) とN-アセチルガラクトサミン (GalNAc) の繰り返し二糖からなり、[-4)GlcA(β1-3)GalNAc(β1-)nの形をとり、GalNAcのC-4および/またはC-6およびGlcAのC-2でO-硫酸化されることがあります。CSのGlcA残基は、エピマー化されてイドロン酸 (IdoA) となり、DSの繰り返し二糖[-4)IdoA(α1-3)GalNAc(β1-)nを形成します。硫酸エステル置換基の濃度と位置は、グリコサミノグリカンの供給源によって異なります。関連する酵素EC 4.2.2.21、コンドロイチン硫酸-ABCエキソリラーゼは、同じ基質特異性を持ちますが、ポリマーコンドロイチン硫酸およびEC 4.2.2.20によって生成されたオリゴ糖断片の非還元末端から二糖残基を除去します。

別名 コンドロイチナーゼ (あいまい); コンドロイチン ABC エリミナーゼ (あいまい); コンドロイチナーゼ ABC (あいまい); コンドロイチン ABC リアーゼ (あいまい); コンドロイチン硫酸 ABC リアーゼ (あいまい); ChS ABC リアーゼ (あいまい); コンドロイチン硫酸 ABC エンドエリミナーゼ; コンドロイチン硫酸 ABC エンドリアーゼ; ChS ABC リアーゼ I

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 4.2.2.20
CAS登録番号	9024-13-9
反応	N-アセチルガラクトサミンとD-グルクロン酸またはL-イドロン酸との間の(1→4)-β-ガラクトサミン結合の内因性切断により、最終的にΔ4-不飽和テトラおよび二糖に分解される異なるサイズのΔ4-不飽和オリゴ糖の混合物が生成される。
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。
-------------	--